

内藤智秀 ちしゅう、西洋史學者、文學博士。明治十九年七月十二日山形縣生れ、昭和五十九年七月二十四日歿（八六一一九益）。明治四十五年東京帝國大學文科大學西洋史學科卒。東京女子高等師範學校、國學院大學、渡應義塾大學、聖心女子大學各教授歴任。イスラム研究の先達の一入。

著書に『巴爾幹の變遷』（長瀬鳳輔共著、大正二年十月、千八百富士房）、『トルコのローマ字採用』（昭和四年九月五日ローマ字ひろめ會）、『コトハ大辭典』（コトハ協會編輯、昭和十一年十一月、千八百富士協會）、『東西文化の融合』（昭和十七年二月、千八百六監館）、『西アジア民族史』（昭和十八年六月、二十五日今日の問題社）『東洋民族史』等。

